

結果報告 ①

2410102 令和5年度神戸川下横地先軟弱地盤対策第1工事



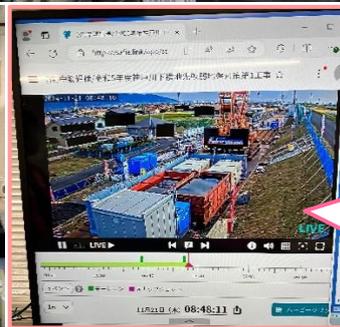
けんせつ小町パトロール隊として、安全衛生面についてパトロールを行いました。
 現場事務所は、他現場と共同で使用されているため、大人数で狭いですが、備品等は整理整頓されており、室内は清掃されていました。空気清浄機や加湿器等の設備を整えて快適に過ごせる工夫をされていました。水回りは清潔に保たれており、ごみは分別を適切に行っておられました。
 現場事務所には、WEBカメラの映像と落雷情報が見られるように大きなモニターを設置されていました。これにより、離れていてもリアルタイムで現場を把握することが出来ます。
【工事進捗率:2.0%】



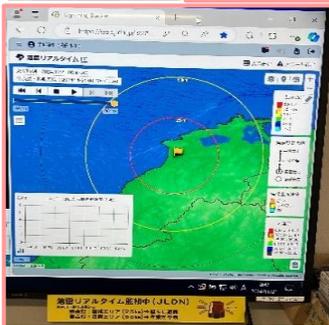
工事概要の説明



BIM/CIM活用施工ステップ動画
 3次元モデルを活用して施工段階ごとに工事内容を把握することが出来る動画を視聴しました。現場の取組を「見える化」することで誰もが分かりやすく工事への理解を深めることが出来ました。



WEBカメラ【Safie】
 現場の状況をリアルタイムで把握することが出来るWEBカメラに住宅の個人情報を守る「マスク処理」を施されていました。



落雷情報システム【Lightning Station】
 クレーンへの落雷対策として、現場事務所には雷情報をリアルタイムに監視できる専用のシステムが導入されており、モニターで管理されていました。雷情報は警告灯と連動しており、ランプの光や音で発生に気付くことができ作業中止の判断をされているとの事です。



【指摘事項】
 電子レンジや冷蔵庫の上に物が置かれていましたが、通気性や安全性の理由から物を置かないことをお勧めします。もし収納スペースが不足している場合は、専用の棚やラックの検討をお願いします。



【指摘事項】
 事務所用トイレ(小便器)の臭いが気になりました。掃除は行き届いていますので、消臭剤を置くなど臭い対策をお願いします。

〈現場および現場周辺の様子〉



本工事は、神戸川堤防の堤防裏法尻付付近において軟弱地盤対策として広幅鋼矢板を施工する工事です。これにより、堤防体である築堤盛土の土圧による地盤沈下から近隣住宅を守ることができます。

この現場は、広幅鋼矢板(45H型)L=41.0mの施工をウォータージェット併用鋼矢板圧入工法により行います。本日はパイラーの据付と材料確認を行っておられました。明日から矢板施工の予定です。

矢板施工に使用する発電機や油圧ユニットなど大きな機械には、騒音を防止する防音シートが設置されていました。また、休憩所横の発電機には「携帯遮音板」が設置され、騒音防止対策が徹底されていました。

現場には作業員休憩所が2か所設置されていました。それとは別に喫煙ルームも設置され、それぞれの場所で快適に休憩をとられていました。休憩所のひとつはメインの下請負業者専用の休憩所になっているそうです。

パイラー

防音シート



吹き流し・デジタル風速計

振動・騒音計



休憩所(A)

遮音板

休憩所(B)

喫煙所



快適トイレ(目隠し付)

【AR技術体験】

堤防上にはAR技術が体験できる場所が作られていました。スマートフォンでQRコードを読み取り接続すると恐竜や気球が動き出しました。子どもたちがワクワクするような遊び要素を取り入れて、AR技術を現場で何に活用しているのかなどが分かりやすく記載してありました。

【BIM/CIM活用工事情報掲示板】

BIM/CIM活用として3次元モデルを活用した工事情報掲示板が設置されていました。3次元モデルを活用して事前に作成された施工ステップ動画をQRコードから視聴することができ、その動画のとおり安全施設が整えられていました。他にも矢板圧入作業工程が記載されている看板にはQRコードがあり、それを読み取るとCGアニメーションで分かりやすく紹介されているので、現場の理解を得やすくなりとても良いと思います。看板などにはかわいいキャラクターやイラストが盛り込まれていて、オリジナリティのあるデザインになっていました。また工事の進捗情報には、「建設業の今昔物語」として、建設業の時代変化「昔と今」についても皆様に紹介されており、第1回目は、工事記録写真について紹介されていました。次回号が楽しみにになります。地元の方から工事に対するご意見やご要望をインターネットを通して募集する専用のページを開設されており、QRコードから簡単に意見や要望を伝えることができます。このことは、地元の方に回覧する「工事だより」でもお知らせしてありました。現場への興味を引く工夫がたくさんあり、地元の方々より近い『作業所』を心掛けておられ



【指摘事項】

- ・角材・道板等の資材が置かれていましたが、すぐに使用されない場合は資材置き場で保管をお願いします。
- ・通路の部材は、カラーコーン等で囲いを設けて保管をお願いします。

冬季に入りましたので感染症が流行する時期でもあります。体調管理に気を付けていただき、これからも無災害で工事を進められることを心から願っています。皆様ありがとうございます。ご安全に！！

